

2024年 りんご病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

【展着剤の選択】展着剤ハイテンパワーに替えてササラ 2,000 倍を使用しても良い。(薬液の広がり、散布後の乾きがよくなる。汚れ軽減)

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り使用量)	使用時期	使用回数	散布量 ℓ/10a	対象病害虫	注意事項
／	第1回 3月中下旬 *発芽前	体系を選択 (水 88ℓ) スプレーオイル 2 ℓ 石灰硫黄合剤 10 ℓ (水 98ℓ) ベフラン液剤 25 100 mℓ アプロードフロアブル 100 mℓ スプレーオイル 2 ℓ	発芽前 休眠期	— —	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 休眠期の防除は、石灰硫黄合剤体系かベフラン体系のどちらかを選択する。
／	第2回 4月上旬 *展葉後	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ベフラン液剤 25 100 mℓ	展葉期	3回	400	黒星病 (うどんこ病)	① 【うどんこ病対策】 コロナフロアブルの 400 倍を加用する。 ② 【黒星病対策】 4月下旬にパスポート顆粒水和剤の 1,000 倍 (45 日前、3 回)を特別散布する。
／	第3回 4月下旬 *開花期	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ サムコルフロアブル 10 20 mℓ ユニックス顆粒水和剤 47 50 g	前日 14 日前	3回 4回	500	黒星病、(うどんこ病) ケムシ類、ハマキムシ類	① 【黒星病対策強化】昨年、黒星病の発生が多かった圃地は、ユニックス顆粒水和剤に代えてミギワ 20 フロアブルの 4,000 倍(前日、3 回)を使用する。 ② 【赤星病対策(第3回散布)】 スコア顆粒水和剤の 3,000 倍(14 日前、3 回)を加用する。 ③ 【アブラムシ類対策(第4回散布)】 ウララDFの 2,000 倍(14 日前、2 回)を加用する。
／	第4回 5月上旬 *落花後	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ カナメフロアブル 25 mℓ	前日	3回	500	黒星病、うどんこ病、赤星病 黒点病	
／	第5回 5月下旬 *落花10日後	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ トランスフォームフロアブル 50 mℓ ジマンダイセン水和剤 200 g	前日 30 日前	3回 3回	500	黒星病、黒点病、褐斑病 アブラムシ類、カイガラムシ類 コアオカスミカメ、リンゴワタムシ	① 【幼果カルシウム補給】 カルタス 1,000 倍を加用する。 目安: 第 5 回～7 回の 3 回連続散布
【黒星病 対策 特別散布】 ジマンダイセン水和剤の 500 倍(30 日前、3 回)を特別散布する。 尚、散布間隔は前回から 7～10 日後とする。							
／	第6回 6月上旬 *前回から 14 日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ダイアジノン水和剤 34 100 g アントラコール顆粒水和剤 200 g	30 日前 45 日前	4回 4回	600	黒星病、黒点病 斑点落葉病、褐斑病、炭疽病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ若齢幼虫 リンゴワタムシ	① 【キンモンホソガ対策】 デミリン水和剤の 4,000 倍(30 日前、3 回)を加用する。
／	第7回 6月中・下旬 *前回から 14 日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ オンリーワンフロアブル 50 mℓ ラビライト水和剤 200 g サイアノックス水和剤 100 g	7 日前 30 日前 14 日前	3回 1回 1回	600	褐斑病、炭疽病、輪紋病 斑点落葉病、黒星病 シンクイムシ類 キンモンホソガ ハマキムシ類、リンゴワタムシ クワコナカイガラムシ若齢幼虫	① 【褐斑病 重点防除期間】 (6月中下旬～7月上旬) 散布量を多めに設定し、樹全体に万遍なく散布する。 ② 【輪紋・炭そ病対策強化】 ラビライト水和剤に代えて、オキシラン水和剤の 500 倍(14 日前、4 回)を使用する。
／	第8回 7月上旬 *前回から 14 日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ バイスロイドEW 50 mℓ フリントフロアブル 25 50 mℓ ユニックス顆粒水和剤 47 50 g	7 日前 前日 14 日前	4回 4回 4回	600	褐斑病、炭疽病、輪紋病 腐らん病、斑点落葉病、黒星病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ	① 【輪紋病対策】 IC ボルデー412 の 30 倍を 7 月初旬に特別散布する。ただし、早生種には散布しない。(汚れ) ② 【ハダニ類対策】 コロマイト乳剤の 1,000 倍(前日、1 回)を加用する。
【炭疽病 対策 特別散布】 オーソサイド水和剤 80 の 800 倍(前日、6 回)を特別散布する。 尚、散布間隔は前回から 7～10 日後とする。							
／	第9回 7月中・下旬 *前回から 14 日以内	展着剤(スカッシュ) 100 mℓ キノドー顆粒水和剤 100 g エコマイト顆粒水和剤 50 g オーソサイド水和剤 80 125 g オリオン水和剤 40 100 g	14 日前 7 日前 前日 前日	4回 1回 6回 2回	600	輪紋病、炭疽病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類 ハマキムシ類、カイガラムシ類 ナミハダニ、リンゴハダニ	① 【シンクイムシ類 対策】 オリオン水和剤 40 に代えて、モスピラン顆粒水溶剤 2,000 倍(前日、3 回)を使用する。 ② 【代替】 キノドー顆粒水和剤に代えて、ベルコートフロアブル 1,500 倍(前日、3 回)でもよい。 ③ 【ドリフト注意】エコマイトはりんご、おうとう以外登録が無いので飛散しないようにする。
／	第10回 8月上旬 *前回から 14 日以内	展着剤(スカッシュ) 100 mℓ マイトコーネフロアブル 100 mℓ エクシレルSE 20 mℓ ダイパワー水和剤 100 g	前日 前日 前日	1回 3回 3回	600	輪紋病、炭疽病 褐斑病、斑点落葉病 シンクイムシ類、キンモンホソガ ナミハダニ、リンゴハダニ	① 【シンクイムシ類 対策】 エクシレルSEに代えて、アーデントフロアブルの 2,000 倍(前日、3 回)を使用する。 ② 【カイガラムシ類 対策】 トランスフォームフロアブルの 2,000 倍(前日、3 回)を加用する。
／	第11回 8月中・下旬 *前回から 14 日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ナリア WDG 50 g バリアード顆粒水和剤 50 g オマイト水和剤 133 g	前日 前日 3 日前	3回 3回 1回	600	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病 褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病、カメムシ類、ハダニ類 シンクイムシ類、リンゴワタムシ (キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、コナカイガラムシ類)	① 【ドリフト注意】 オマイト水和剤はナシ類に登録が無いので、飛散しないようにする。
／	第12回 9月上旬 *前回から 14 日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ イカズチWDG 66 g アリエッティ C 水和剤 125 g	前日 前日	2回 3回	600	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病、 褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病、ハマキムシ類 シンクイムシ類、キンモンホソガ、 ギンモンハモグリガ	① 【ハダニ類対策】 ダニオーテフロアブルの 2,000 倍(前日、1 回)を加用する。尚、散布の際は銅剤(キノドー)散布の 45 日以降とする。 ② 【軟化防止対策】 カルタス 1,000 倍を加用する。 目安: 第 12 回以降、2～3 回連続散布
／	第13回 9月中・下旬 *前回から 14 日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ベフラン液剤 25 50 mℓ ディアナWDG 10 g	前日 前日	3回 2回	600	すす点病、すす斑病 斑点落葉病、褐斑病 (黒星病) シンクイムシ類、キンモンホソガ	① 【リンゴワタムシ対策】 ディアナWDGに代えて、ダントツ水溶剤の 2,000 倍(前日、3 回)を使用する。
／	特別散布 9月末 ～10月上旬	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ストライド顆粒水和剤 66 g	前日	3回	600	炭疽病 斑点落葉病、褐斑病 すす点病、すす斑病 黒星病	① 【薬害注意】 ストライド顆粒水和剤は、高温時に散布すると薬害が生じる恐れがある。

◆ 混用例：展着剤 ⇒ 液剤⇒ 乳剤⇒ 顆粒水溶剤⇒ 水溶剤⇒ フロアブル⇒ ドライフロアブル (DF) ⇒ 顆粒水和剤 (WDG) ⇒ 水和剤

【安心・安全な農産物生産のために使用基準を厳守しましょう】

当防除暦の複製・コピーを禁止します。